



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月14日

上場会社名 OATアグリオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4979 URL https://www.oat-agrio.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 修治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松本 健次 TEL 03-5283-0262
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年12月期第3四半期 | 16,999 | 40.4 | 1,739 | △20.0 | 1,491 | △32.3 | 894 | △42.1 |
| 2018年12月期第3四半期 | 12,111 | 5.2 | 2,174 | △9.4 | 2,201 | △7.6 | 1,543 | △4.0 |

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 17百万円 (△98.8%) 2018年12月期第3四半期 1,473百万円 (△10.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年12月期第3四半期 | 165.21 | — |
| 2018年12月期第3四半期 | 285.10 | — |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 2019年12月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2018年12月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年12月期第3四半期 | 28,770 | 7,279 | 22.7 | 1,209.33 |
| 2018年12月期 | 29,980 | 7,518 | 22.5 | 1,244.79 |

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 6,545百万円 2018年12月期 6,737百万円

(注) 2019年12月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2018年12月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年12月期 | — | 0.00 | — | 40.00 | 40.00 |
| 2019年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2019年12月期（予想） | — | — | — | 40.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-----|-------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 22,995 | 50.5 | 1,869 | 6.0 | 1,676 | △4.6 | 1,007 | △19.9 | 186.06 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2019年12月期3Q | 5,536,000株 | 2018年12月期 | 5,536,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年12月期3Q | 123,912株 | 2018年12月期 | 123,817株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2019年12月期3Q | 5,412,135株 | 2018年12月期3Q | 5,412,235株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年1月1日～2019年9月30日）におけるわが国経済は、政府の経済政策による雇用・所得環境や企業収益等の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で世界経済においては、米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題、中東情勢の緊迫化など、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような情勢のもと、当社グループは、国内外において、各製品の販売拡大のため積極的な営業活動を行ってまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は169億99百万円（前年同四半期比48億88百万円増加、同40.4%増）、販売費及び一般管理費は61億16百万円（前年同四半期比26億7百万円増加、同74.3%増）となり、営業利益は17億39百万円（前年同四半期比4億34百万円減少、同20.0%減）、経常利益は14億91百万円（前年同四半期比7億10百万円減少、同32.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億94百万円（前年同四半期比6億48百万円減少、同42.1%減）となりました。

上記のとおり当社グループの当第3四半期累計期間における売上高は、国内農薬及び海外バイオスティミュラントの販売の減少もありました。しかしながら、2018年に買収したスペインのLIDA PLANT RESEARCH, S.L.社（CAPA ECOSYSTEMS, S.L.社を含む）及びオランダのChrysal社（Blue Wave Holding B.V.）を連結に取込んだため前年同四半期比で増加しました。

一方で上記2社買収に伴う費用負担やO A T アグリオ単体の研究開発費が増加したことにより、営業利益は前年同四半期比で減少しました。

当社グループはアグリテクノ事業の単一セグメントであります。各分野別の業績につきましては以下のとおりであります。

農薬分野においては、国内向け殺菌剤「ガッテン」から新規殺菌剤「ショウチノスケ」への全面切り替えの進捗が遅れたこと、一部取扱い中止の製品があったこと、また海外向け殺菌剤「カリグリーン」の米国における流通在庫調整により、売上高が減少しました。その結果、農薬分野全体の売上高は85億20百万円（前年同四半期比2億92百万円減少、同3.3%減）となりました。

肥料・バイオスティミュラント分野においては、アジアの主要販売地域であるインドネシアの干ばつ及びインドでの登録の遅れにより「ATONIK」関連の売上高は前年同四半期比で減少しましたが、上記の海外子会社2社を連結に取込んだため、売上高は増加しました。その結果、肥料・バイオスティミュラント分野全体の売上高は84億78百万円（前年同四半期比51億81百万円増加、同157.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億9百万円減少し、287億70百万円となりました。これはのれんの減少13億61百万円、現金及び預金の増加6億4百万円、受取手形及び売掛金の減少3億59百万円が主な原因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ9億70百万円減少し、214億91百万円となりました。これは、短期借入金の減少73億42百万円、長期借入金の増加65億45百万円が主な原因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億39百万円減少し、72億79百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加6億77百万円、為替換算調整勘定の減少等によるその他の包括利益累計額の減少8億69百万円が主な原因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年2月14日の「2018年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,474 | 3,078 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,135 | 4,775 |
| 商品及び製品 | 3,629 | 3,038 |
| 仕掛品 | 552 | 642 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,469 | 1,735 |
| その他 | 663 | 753 |
| 貸倒引当金 | △65 | △20 |
| 流動資産合計 | 13,859 | 14,004 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 3,219 | 3,371 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 9,965 | 8,603 |
| その他 | 1,961 | 1,732 |
| 無形固定資産合計 | 11,927 | 10,336 |
| 投資その他の資産 | 974 | 1,058 |
| 固定資産合計 | 16,120 | 14,766 |
| 資産合計 | 29,980 | 28,770 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,489 | 2,051 |
| 短期借入金 | 13,782 | 6,440 |
| 未払法人税等 | 216 | 370 |
| 返品調整引当金 | 15 | 17 |
| 売上割戻引当金 | 38 | 169 |
| 賞与引当金 | 33 | 123 |
| その他 | 1,884 | 1,633 |
| 流動負債合計 | 18,461 | 10,808 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,860 | 9,405 |
| 退職給付に係る負債 | 219 | 239 |
| 繰延税金負債 | 518 | 414 |
| その他 | 402 | 623 |
| 固定負債合計 | 3,999 | 10,683 |
| 負債合計 | 22,461 | 21,491 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 461 | 461 |
| 資本剰余金 | 2,410 | 2,410 |
| 利益剰余金 | 4,281 | 4,959 |
| 自己株式 | △161 | △162 |
| 株主資本合計 | 6,991 | 7,669 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △56 | △26 |
| 為替換算調整勘定 | △179 | △1,077 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △18 | △20 |
| その他の包括利益累計額合計 | △254 | △1,124 |
| 非支配株主持分 | 781 | 734 |
| 純資産合計 | 7,518 | 7,279 |
| 負債純資産合計 | 29,980 | 28,770 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 12,111 | 16,999 |
| 売上原価 | 6,427 | 9,144 |
| 売上総利益 | 5,683 | 7,855 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,508 | 6,116 |
| 営業利益 | 2,174 | 1,739 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 14 | 14 |
| 受取配当金 | 4 | 6 |
| 受取技術料 | — | 42 |
| 為替差益 | 22 | — |
| その他 | 11 | 30 |
| 営業外収益合計 | 53 | 94 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 25 | 194 |
| 支払手数料 | — | 76 |
| 為替差損 | — | 41 |
| その他 | 0 | 30 |
| 営業外費用合計 | 26 | 342 |
| 経常利益 | 2,201 | 1,491 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 0 |
| 特別利益合計 | 0 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 1 |
| 関係会社株式評価損 | 1 | 15 |
| 特別損失合計 | 2 | 16 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,199 | 1,474 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 710 | 654 |
| 法人税等調整額 | △50 | △107 |
| 法人税等合計 | 659 | 547 |
| 四半期純利益 | 1,540 | 927 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △2 | 33 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,543 | 894 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,540 | 927 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △29 | 29 |
| 為替換算調整勘定 | △39 | △938 |
| 退職給付に係る調整額 | 1 | △1 |
| その他の包括利益合計 | △66 | △909 |
| 四半期包括利益 | 1,473 | 17 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,502 | 24 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △28 | △7 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(2016年1月公表)(以下、IFRS第16号)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

本基準の適用に伴い、四半期連結貸借対照表は、有形固定資産339百万円、流動負債のその他108百万円及び固定負債のその他233百万円が増加しております。

また、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、アグリテクノ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。